

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成24年度採択課題）

F S（革新的研究調査）評価結果

番号	F S 研究名	研究代表者	評 価
24-3	道路の旅行時間信頼性の評価と運用に係る研究開発－ 経済便益計測手法の提案と経路誘導システムの構築－	東京工業大学大学院 准教授 福田 大輔	A
<p>&lt;研究の概要&gt;</p> <p>道路の旅行時間信頼性（移動の定時性）が向上したことによる経済便益の計測・評価手法を提案・検証するとともに、旅行時間の不確実性を前提とした経路誘導アルゴリズムの開発とそのシステム構築について研究する。</p> <p>&lt;FS（革新的研究調査）評価結果&gt;</p> <p>旅行時間信頼性の経済便益計測等について研究成果の活用が期待されることから、新規研究として採択する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経済便益評価のケーススタディは、一般道についても実施されたい。</li> <li>2. 旅行時間信頼性を評価した結果と、それがどのように経路案内等に反映されるか、わかりやすく提示されたい。</li> <li>3. 経路案内について、将来的に実務へ反映する方策と、実務へ反映する政策上の意義を提示されたい。</li> <li>4. 従来の予測旅行時間による経路案内と比較し、本研究による経路案内の有効性を提示されたい。なお、両者が組合せ可能な場合には、予測旅行時間に対する追加的効果として評価することを提案する。</li> </ol>			